

浄土宗開教振興協会
第12回開教公開カンファレンス

コロナ禍社会に 役に立つお寺に

—今何ができるか—

参加費

無料

ただしインターネット接続の
環境が必要です

日時

令和3年 **11月29日** 月

13:00～17:00 (受付開始 12:00～)

場所

Web会議システムZoomにて開催

基調講演

鵜飼 秀徳

(京都教区正覚寺住職、ジャーナリスト)

コメンテーター

戸松 義晴

(全日本仏教会理事長)

コロナ禍社会に役に立つお寺に —今何ができるか—

コロナ禍社会は、全世界で生活様式も一変したように、各仏教界寺院にも影響を及ぼし、年中法要や法事、葬儀式も簡素化していくなか、全日本仏教会戸松義晴理事長は、「寺院・僧侶に求める役割は、不安な人に寄り添うことであり、社会に役立たない寺院は消えていく」と警鐘をならしています。

本カンファレンスでは、「コロナ禍社会に役に立つお寺に—今何ができるか—」をテーマに、基調講演・ワークショップ・全体会を通じて、これからの寺院・僧侶が、いかに活動して社会に役立つことができるか、21世紀劈頭宣言「世界に共生きを」を具現化するのかを考察していきたいと思えます。

13:15～ **基調講演** 「コロナ禍社会で人々がお寺に求めるもの ～寺院再生のカギ～」

講師：鵜飼 秀徳（京都教区正覚寺住職、ジャーナリスト）

14:30～ **ワークショップ** コメントーター：戸松 義晴（全日本仏教会理事長、浄土宗総合研究所主任研究員）

グループ① 北米開教区・ハワイ開教区グループ

グループ② 南米開教区・オーストラリア開教地・フランス開教地グループ

グループ③ 国内開教使グループ

15:45～ **全体会**

定員 80名（ワークショップへの参加は先着順となります）

申込方法 参加ご希望の方はQRコードからお申込みいただくか、下記参加申込書にご記入の上、FAXにてご送付ください。



申込期限 令和3年11月19日（金）

【お問い合わせ】

浄土宗開教振興協会

〒105-0011

東京都港区芝公園4-7-4 明照会館内3F

TEL: 03-3436-3351 (代)

FAX: 03-3434-0744

Eメール: syakai@jodo.or.jp

< FAX送信 03-3434-0744 >

第12回開教公開カンファレンス 参加申込書

氏名	教区名	寺院番号	寺院名
TEL	メールアドレス		

▼ワークショップについていずれかに○をつけてください ※ご希望に沿えない場合がございます

★参加形態		
参加（発言）希望	視聴のみ	
★参加・視聴を希望するグループ		
①北米・ハワイ	②南米・オーストラリア・フランス	③国内開教使